

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年12月06日

計画の名称	春日町ヒメボタル特別緑地保全地区整備事業											
計画の期間	平成29年度 ~ 令和02年度 (4年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	豊中市											
計画の目標	豊中市においては、大阪府などで「絶滅危惧種」又は「準絶滅危惧種」になっている希少なヒメボタルの市内唯一の生息地である「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」について、ヒメボタルの生息環境の保全に主眼を置きつつ、更なる自然環境学習の場として、広く市民等に活用される環境づくりを推進する。 そのため、特別会計により先行取得している公共用地について一般会計での買戻しを行い、事業化することにより、計画的に特別緑地保全地区の保全及び安全対策等の整備を行うことで、ヒメボタルが生息する自然環境を永続的に保全する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	560	A	560	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」について、特別会計先行取得用地を一般会計化し事業化することで、計画的にヒメボタルの生息環境の保全及び更なる活用の推進を図る。 春日町ヒメボタル特別緑地保全地区で買入れが必要な面積のうち、買入れを行った面積の割合の増加 買入れを行った面積 / 買入れが必要な面積	0%	66%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	豊中市	直接	豊中市	-	-	豊中市緑地保全事業	特別会計先行取得用地5,896㎡の一般会計での取得及び施設整備	豊中市						560	-			
												小計						560			
											合計						560				

交付金の執行状況

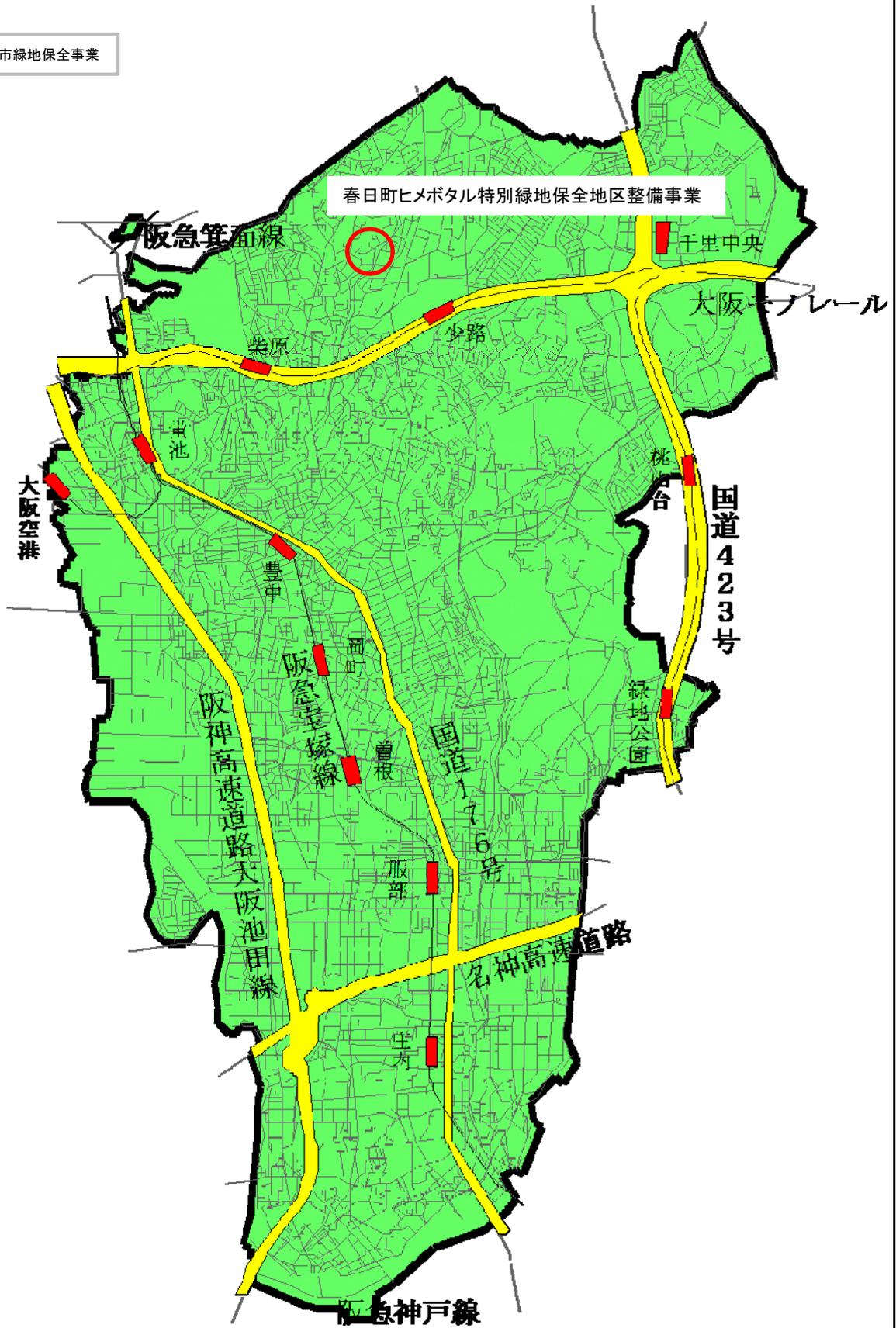
(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	
配分額 (a)	67	42	48	18	
計画別流用増 減額 (b)	11	1	0	0	
交付額 (c=a+b)	78	43	48	18	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	78	43	48	18	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画名称	春日町ヒメポタル特別緑地保全地区整備事業		
計画期間	平成29年度 ~ 平成32年度 (4年間)	交付対象	豊中市

A12-001 豊中市緑地保全事業



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 春日町ヒメボタル特別緑地保全地区整備事業

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針との適合等 1) 都市公園における遊具の安全確保に関する指針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針との適合等 2) 移動等円滑化の促進に関する基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針との適合等 3) 上位計画（豊中市総合計画）等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 関連分野との整合 1) 豊中市次世代育成支援行動計画の施策としても位置付けられている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 特定計画として国土交通大臣の同意を得ている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 事業熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業実施を阻害する課題・問題点はない。	○